

人材育成WG

概要

カーボンニュートラルの実現に向けては、技術革新と社会革新の双方が必要であり、既存の技術や知見のみでは解決することのできない未知の課題に向き合うことが必要となる。その担い手となる人材育成や環境リテラシーの向上が世界や国において喫緊の課題となるなか、本分野は多様な複合的課題に関わり、どのような人材育成等に取り組むべきかについて分野横断的な知見が求められる。また、社会のニーズに応じた人材育成に取り組むことや、社会での実践を踏まえた課題解決力の育成、社会起業家の育成等も重要である。このような観点から、企業や自治体等と連携し、また海外の先進事例に係る知見も取り入れながら、カーボンニュートラル達成に向けた人材育成に必要な要素に係る議論を深めるとともに、大学等間の協働によるカリキュラムや教材等の作成や、企業、自治体、大学間の人材交流に係る取組を推進する。

ミッション

- カーボンニュートラル達成に向けた各大学における人材育成に係る取組や、産学官民の人材交流等を推進するため、国内外の先進的な知見を集約・共有するとともに、大学間連携等による新たな共同の取組について検討・実施し、その成果の横展開を図る。

活動の方向性

- 各大学における本分野のこれまでの人材育成や人材交流等に係る取組の成果を集約し、共有する。併せて、地域社会における市民と協働した課題解決の実践や、高校等の地域の学校と連携した学生が主体となる取組等の導入により課題解決力やコミュニケーション力などの基礎的なコンピテンシー等を育てる効果的な指導法についても先進的な事例や知見を共有する。
- 国際連携等を通じた国外の知見や国内の成果等を取り入れながら、カーボンニュートラル達成に向けた人材育成のための共同カリキュラムや教材（教養学部レベルのリテラシー教育やより専門的な教育など）等の作成に係る大学間連携や産学官民連携による新たな協働の取組について検討し、実施を目指す。

【国際的な知見の例】 The sustainability and Education Policy Network(SEPN)、International Association for the Evaluation of Educational Achievement (IEA)レポート

- カーボンニュートラル達成に向けた人材育成等の在り方や取組の方向性に係る議論を行う。

【観点例】

- ・カーボンニュートラル達成に向けた人材育成に係る目指すべき方向性と必要な要素（将来雇用の視点を含む）
- ・地域等における企業、自治体、大学間の人材交流（インターンシップを含む）に係る取組の推進の在り方
- ・企業や自治体等のニーズを取り入れ、人材育成等において協働するための産官学民との連携の場の在り方